



新たな船出！魅力発信。
海も山も潮風匂う加茂にカモ～ン！！

～ 加茂ビジョン ～

東北公益文科大学私立大学研究ブランディング事業

令和元年 9 月

加茂地区自治振興会

加茂グランドデザイン検討委員会

目 次

目 次	1
1. 加茂ビジョンのスローガン	2
2. 加茂の将来像	2
3. 計画の期間	2
4. 現状と課題	3
5. 加茂のイベント紹介	4
6. 数字で見る加茂	5
7. 取り組みの方向性	6
8-1. 事業計画（すぐに着手する活動内容）	7
8-2. 項目ごとの実践スケジュール	8～13
9. 事業計画（今後進めていく項目整理表）	14～15
10. 地区を取り巻く協働先	16
11. 検討の経過	17～25

1. 加茂ビジョンのスローガン

新たな船出！魅力発信。 海も山も潮風匂う加茂にカモ〜ン！！

海も山も人もすべていい魅力あるまち「加茂」
賑わう新しい港町へと船をこぎ出すまち「加茂」
潮風匂う自然あふれるまちにみんなおいでよ！加茂にカモ〜ン！！

2. 加茂の将来像

私たち加茂住民が安全で安心して暮らせ、若者壮年世代が活躍できる楽しい加茂にしていきます。

県・内外から、外国から来られる方が目で見て楽しめる、食べて楽しめる、体験して楽しめる、学んで楽しめる加茂にする。

3. 計画の期間

令和元年度 ～ 令和5年度



4. 現状と課題

加茂地区は、高館山と日本海に囲まれた風光明媚な土地で、加茂・油戸地域・今泉・金沢の4つの地域で構成されています。加茂の歴史は古く、鎌倉時代の五輪塔二基、宝篋印塔三基が残されている。貞応時代(1223年)頃には海運業が盛んになり、そのころ北は庄内加茂までとあり、早くから加茂港に船が盛んに入港していました。江戸中期～明治初期までは北前船で栄え、大正時代には北洋漁業の基地として発展したことから地区内には神社や寺が多く点在するほか、狭い路地や歴史を感じさせる邸宅や蔵など港町の景観が今もなお残る風情豊かな地域となっています。

ここに住む人々は、狭い地域に住宅が密集していることや旧加茂中学校、旧加茂小学校があったこと等により、住民相互の絆の深さ、世代を超えたつながりを保っています。また近年は、加茂水族館の賑わいとともに加茂レインボービーチやみなとオアシスを活用した各種イベントには多くの観光客や海水浴客が訪れており、地域内の賑わいが加速しています。

しかしながら、近年相次いで中学校・小学校・保育園が閉じられたことにより、子育て世帯の流出と高齢世帯・空き家の増加が目立つ状況にあり、地域コミュニティ力の向上と安全で安心な暮らしの維持が喫緊の課題となっています。また、地域活性化の要となりうる観光協会や商工会などが組織化されていないことから、加茂地区にある豊富な資源がうまく活用されていないことも課題の一つです。

- ◇ 世代を超えたつながりが強い
- ◇ NPO等地域で活動する団体が多い
- ◇ 海運業・漁業で栄えた頃の歴史と景観が残る
- ◇ 各地域に伝わる祭りや文化的資源がある
- ◇ 水族館・港・ビーチ・寺社仏閣等の活用資源が豊富
- ◇ 海・山などの恵まれた自然
- ◆ 人口減少と高齢化の加速（子育て世代の流出）
- ◆ 地域コミュニティ意識の脆弱化
- ◆ 地域の拠点施設(コミセン)の老朽化
- ◆ 土砂災害・津波発生の恐れがある
- ◆ 買い物・交通など生活環境の弱体化
- ◆ 空き家の増加

5. 加茂のイベント紹介

春

4月17日 油戸祭り
 5月 5日 金沢祭り
 5月18日 加茂祭り
 " 今泉祭り
 5月末 加茂地区市民大運動会



夏

7月 加茂港大漁フェスティバル
 7月~8月 加茂レインボービーチ海水浴
 7月~9月 海教塾 ヨット教室



秋

9月末 加茂地区敬老会
 10月 油戸運動会・芋煮会
 " みなとオアシス加茂 秋祭り
 " みなとオアシス加茂 釣り大会



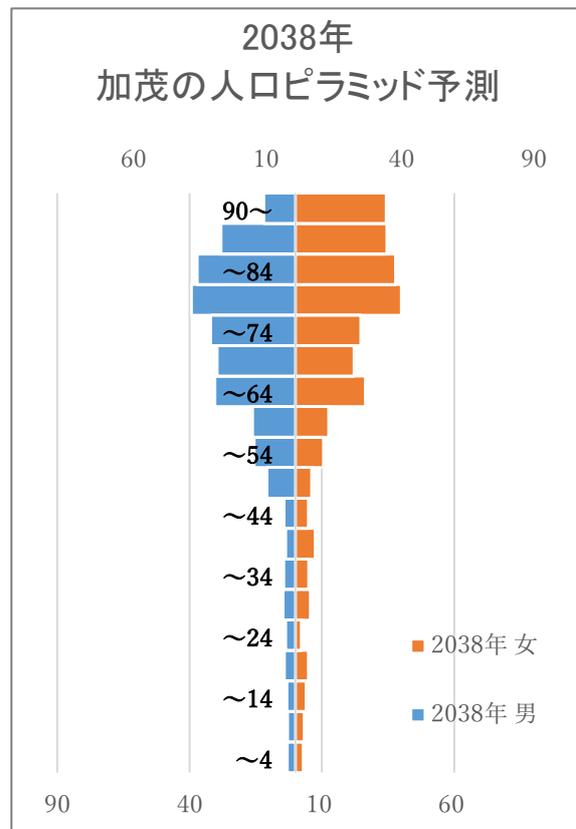
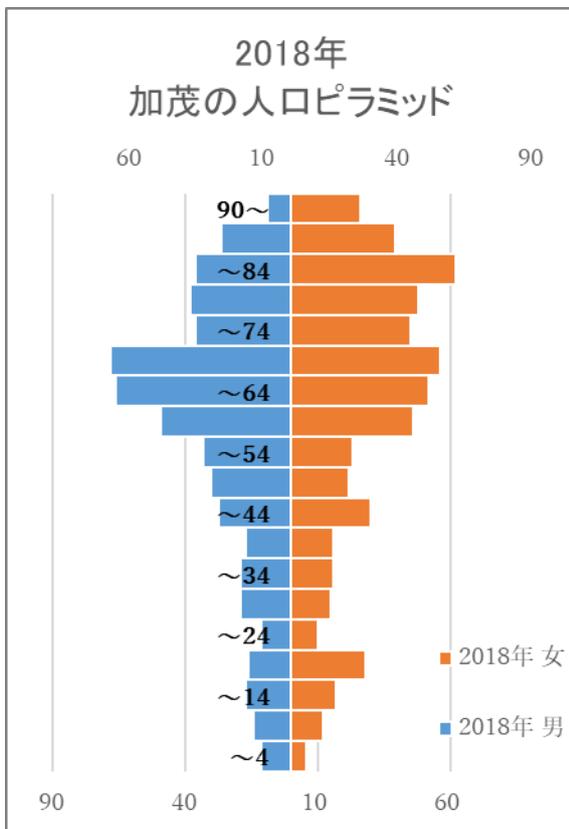
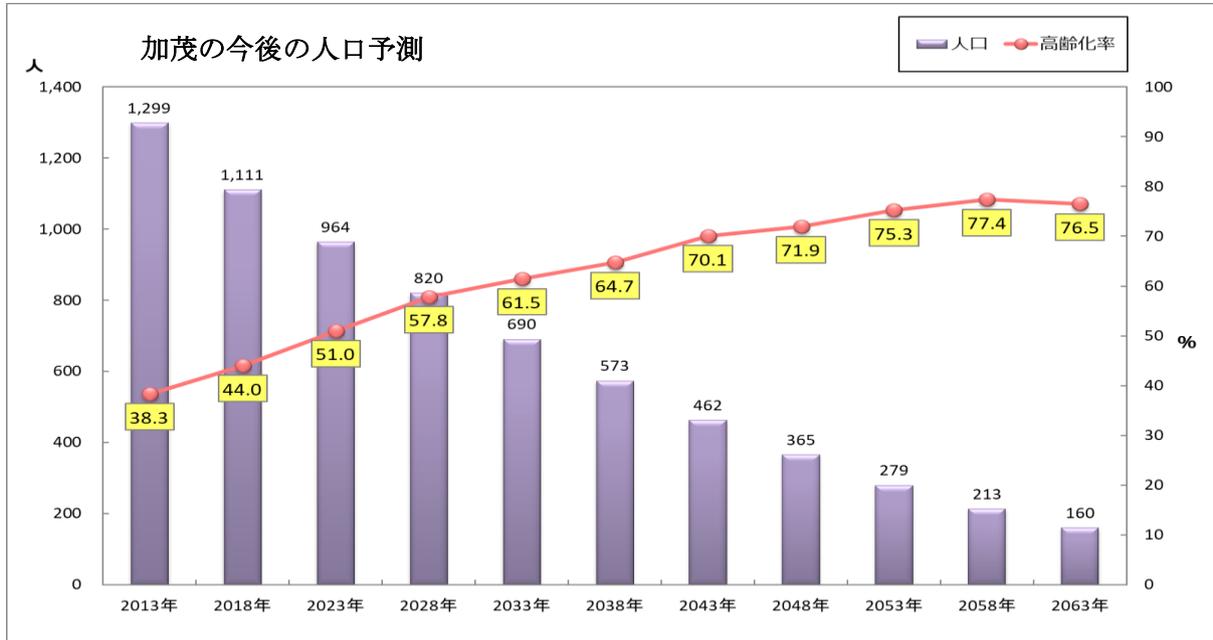
冬

1月 加茂地区新年祝賀会
 2月 加茂地区市民作品展
 12月~3月 配食サービス



6. 数字で見る加茂

地域人口分析・予測シミュレーション分析結果ファイルより



新たな船出！魅力発信。 海も山も潮風匂う加茂にカモン!!

温かい地域性を活かし、地域の絆を強化し安全で安心して心豊かに暮らせる生活をめざします。また、加茂の魅力である豊かな自然や歴史・文化など豊富な地域資源の情報発信により誘客を促進し、人口減少に歯止めをかける移住へとつなげます。

1. 自然・風景を活かし

加茂の魅力を発信し、賑わいを創出

2. 産業を振興するため

特産品開発、旧小学校跡地の活用などで誘客を促進
また、組織連携の体制づくりを研究

3. 暮らしやすい環境づくりのため

防災・生活支援・空き家対策など、身近なところから
一歩ずつ安心へとつなげるまちづくりを推進

4. 地域の若者・子どもが活躍する地域づくりのため

地域内での交流の場や若者主体の事業を検討

5. 歴史・教育を守り伝えていくため

日本遺産「北前船寄港地」認定を活かした歴史・文化
の継承

8-1. 事業計画（すぐに着手する活動内容）

すぐに着手する項目別の活動内容	主な連携先
加茂地区で活動している各種団体と連携し、活性化につなげる	加茂地区で活動するすべての団体
1. 自然・風景を活かしていくための活動（加茂の魅力を発信し、賑わいを創出する）	
①加茂の魅力満載の写真をインスタで発信して加茂に来てもらおう	ホームページ委員会
②ビューポイントの町歩き景観マップと看板を作る	加茂の文化遺産を愛する会
2. 産業を振興していくための活動（特産品を開発し、製造までのしくみをつくる）	
①特産品(コロッケ、チーズケーキなど)を開発し、製造する。	地域住民
②加茂オリジナルの商品の考案	地域振興部、地域住民
3. 暮らしやすい環境づくりのための活動（身近なところから少しずつ安心へとつなげるまちづくり）	
①皆が集えるコミセンを作る	鶴岡市
②楽しく身につく防災塾の実施	自主防災会 連絡協議会
③本当に必要な「買い物・生活支援」を実現するための実態把握	町内会長会、住民会
④加茂地区の環境美化～まちづくりは環境整備から～	生活環境部 整備箇所に関わる団体
4. 地域の若者・子どもが活躍するための活動（若者・子どものパワーが加茂を変える）	
①教育チームと若者の交流会を開く	育成会
②加茂を元気にする取り組みの現状と課題を若者に知ってもらう	自治振興会
5. 加茂の歴史・教育を守り伝えていくための活動（加茂の歴史を後世に残し伝える）	
①日本遺産「北前船寄港地」追加認定 周知とガイド看板設置	加茂地区の各団体 自治振興会・鶴岡市
②帆船乗組員が加茂に残した「泊町大黒舞」の継承	泊町大黒舞保存会 自治振興会・鶴岡市

8-2. 項目ごとの実践スケジュール

実践項目		令和元年～2年												連携先					
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		8月	9月	10月	11月	
加茂の魅力を満載にまで加茂に来てもらう	事業内容計画			←	→													HP委員会・中高生	
	SNS教室の開催 (地区内・2回目8/25開催)																		
	インスタ発信のしくみづくり (観光客・地区外の方)			←	→														HP委員会
	タグ付け周知			←	→														HP委員会
	カードの配布(水高生、公益大生、コメン地区高校生、水族館)			←	→														HP委員会
【備考】 地区内の高校生・中学生 加茂人(公益大ゼミ学生)																		①	
ビューポイントの看板作り(主体/自然チーム)	ビューポイント等選定 (加茂八景・インスタデータから選ぶ)			←	→													加茂の文化遺産を愛する会/公益大/鶴岡市	
	見積マップ⇒発注⇒納品							←	→										"
	看板内容検討(令和2年度)																		"
	デザインの依頼 (ビューマップ元年度・看板2年度)					←	→												"
	設置ポイントを決める(令和2年度)																		北前船関係
	見積⇒発注⇒工事(令和2年度)																		"
【備考】 英語版/古道MAP、草刈り(景観維持)																		②	

産業を振興していくための実践スケジュール
(特産品を開発し、製造までのしくみをつくる)

実践項目	想定される活動内容	令和元年～2年												主体と連携先				
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		8月	9月	10月	11月
特産品 (コロッケ、 開発し、 製造する。 チーズケーキなど) を	協力してくれる人を募る コロッケ販売			秋祭り				(作品展)									秋祭り	産業チーム、地域住民
	特産品(チーズケーキ)を試作する							(作品展)									秋祭り	
	試食会・アンケート調査の実施																	
	新作の考案(他地域の特産リサーチ等)																	
	【備考】 ・コロッケ 8月 協力者を募る・予算の確保 9月 試作する 10月13日 秋祭りで販売(2種) 2月 作品展で販売		・チーズケーキ 8月 予算の確保 レシビ・協力者の確認 10月 協力者を募る 11～1月 試作する(数回実施の可能性あり) 2月 作品展で試食・アンケート実施															①
実践項目	想定される活動内容	元～2年												連携先				
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		8月	9月	10月	11月
加茂オリジナルの 販売する商品 (特産品) を	イベント情報収集																	地域振興部 ↓ 地域振興部、地域住民
	他地域の特産品・出店方法リサーチ																	
	商品のアイデア考案																	
	販売に協力してくれる人を募る																	
	販売できる場所を探す(ネット販売含め)																	
	【備考】 食材等については季節限定のものでも良い。 元々地域にあるもの活用する。自分たちで作ることも視野。 加茂で取れる食料を商品に。																	②

暮らしやすい環境づくりのための実践スケジュール
(身近なところから少しずつ安心へとつなげるまちづくり)

実践項目	想定される活動内容	年												連携先		
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月			
皆が集める (主体/環境チームをつくる)	現在の利用団体と利用状況を調べる															自治振興会事務局
	どんな部屋(様式や広さ)が必要か検討する															地域住民・各種団体
	利用者の意見をまとめ要望内容を決める															地域住民・各種団体
	市との協議															
	【備考】 ・検討には、利用者団体の意見も反映 ・子どもたちの目線、意見 ・各利用団体にアンケート? ・ワークショップ? などなど、...															①
実践項目	想定される活動内容	年												連携先		
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月			
楽しく身につく (主体/環境チーム防災塾)	年間計画(年度ごとの目標設定)															加茂地区自主防災会連絡協議会
	事業実施スケジュール作成															
	内容検討															
	関係者に依頼⇒打合せ															
	地区内への周知(募集)															
	【備考】 ・運動会競技 ・防災訓練でのクイズ ・炊き出し ・AED講習会 ・高齢者・一人暮らし世帯の避難ネットワークづくり ・防災リュック講習会															②

実践項目	想定される活動内容	年												連携先			
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		月		
本 当 に 必 要 な 実 態 「 買 い 物 ・ 生 活 支 援 チ ー ム 」 を 実 施 す た め の 実 態 把 握	アンケートの実施（加茂地域）															加茂町内会長会	
	調査結果まとめ・結果分析																
	他地域（油戸・金沢・今泉）へ情報共有 ⇒住民会にて検討いただく																油戸・金沢・今泉 住民会
	支援内容検討																地域内各種団体
【備考】																③	
実践項目	想定される活動内容	年												連携先			
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		月		
環 境 整 備 地 区 の 環 境 保 全 ま ち づ く り は （ 主 体 ／ 環 境 チ ー ム ）	生活環境部への声掛け（連携依頼）															生活環境部	
	事業内容検討（年間計画）																
	関係団体に連携依頼⇒打合せ （事業ごと）																
	事業実施スケジュール作成																
	地区内への周知（募集）																
【備考】 ・緑地帯の整備 ・赤灯台（守る会） ・日和山の活用																④	

加茂
GD

地域の若者・子どもが活躍するための実践スケジュール
(若者・子どものパワーが加茂を変える)

実践項目	想定される活動内容	令和元年～2年												連携先				
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		8月	9月	10月	11月
現状加茂課題を元気に若者に知り組む	加茂の情報誌【フォロ ロッソ】第1号発行(8/24)	24																
	加茂地区の各種団体の活動内容を調べる			○							○							自治振興会
	情報誌【フォロ ロッソ】の構成を検討				○							○						
	製作する					○							○					
	【フォロ ロッソ】発行年間計画	○						↔								↔		
	<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/24に第1号の【フォロ ロッソ】を発行し、育成会との交流会にて配布、各育成会の会員にも配布をお願いした ※フォロ ロッソとはイタリア語で赤灯台の意 ・今後とも定期的に情報誌を発行し、それを継続していく ・【フォロ ロッソ】の発行に合わせて、育成会との交流会を開催する 																①	
実践項目	想定される活動内容	令和元年～2年												連携先				
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		8月	9月	10月	11月
教育チームと若者の交流会を開く	教育チームと育成会の交流会を開催(第1回目)	24																育成会
	第2回目以降の交流会の開催時期を決定	13																
	交流会の案内を作る				○							○						
	交流会の出欠を取る					○							○					
	※今後の交流会の日程							↔								↔		
	<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/24開催時には、具体的な話を聞くことが出来てとても有意義だった<例>加茂古道の整備に関わりたいがどこが窓口かわからない など ・交流会で出た意見を参考に、加茂の情報誌【フォロ ロッソ】の誌面の内容を考えていく ・出欠を各育成会の会長さんへ頼んだことから、次回以降もっと多くの人への声かけを協力して頂けることになった 																②	

加茂の歴史・教育を守り伝えていくための実践スケジュール
(加茂の歴史を後世に残し伝える)

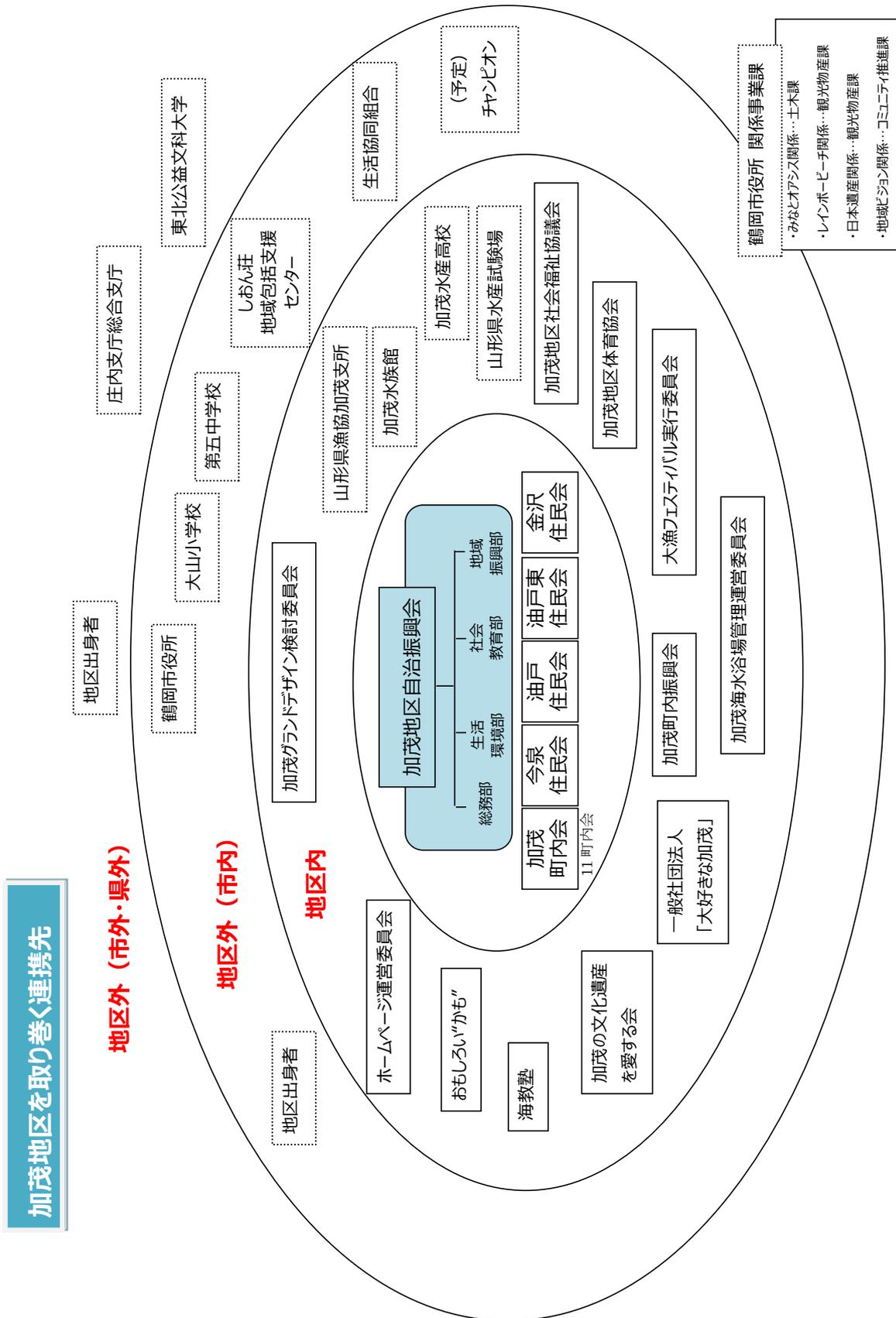
実践項目	想定される活動内容	令和元年～2年												連携先				
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		8月	9月	10月	11月
日本遺産周知「北前船寄港地」看板設置追加認定	ガイド看板の内容と設置個所の決定			←														加茂の文化遺産を愛する会 自治振興会・鶴岡市 自然チーム
	ガイド看板作成と設置							←										〃
	北前船寄港地パンフレット作成							←										〃
	まち歩きガイドの養成			←														加茂の文化遺産を愛する会 自治振興会・地域住民
	日和山整備（第1回目8/25実施）	○											←					加茂町内振興会・鶴岡市 加茂の文化遺産を愛する会 町内会長・住民会長 自治振興会
【備考】		令和元年5月20日文化庁より北前船寄港地として追加認定を受ける 加茂T字路に自治振興会で北前船寄港地の看板設置 歴史チームはまち中を中心に看板を設置していきたい															1	
実践項目	想定される活動内容	令和元年～2年												連携先				
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		8月	9月	10月	11月
帆船乗組員が「加茂」に残した	泊町大黒舞のPR	←																鶴岡市・泊町大黒舞保存会 自治振興会
	加茂の若者の伝承育成	←																泊町大黒舞保存会 自治振興会
【備考】		貞永元年(1232年)帆船の乗組員等によって関西方面から伝えられた「泊町大黒舞」 昭和59年に「加茂泊町大黒舞保存会」を発足し活動を行ってきたが、会員の高齢化により活動が縮小されてきていた。北前船寄															2	

9. 事業計画(今後進めていく項目整理表)

分類	項目	2~3年		4年~		主体・役割・連携(実践の体制)				想定される連携先など	実践のポイントなど
		2~3年	4年~	住民個々	組織の取り組み	地域の取り組み	組織間連携	行政との連携			
								行政	他地域連携		
自然・風景を活かしていくための提案していく	現在ある山・海に関係する団体への参加人数を増やす	○		◎	◎	◎	◎			海教塾 加茂町内振興会	自然チームから声かけ
	観光協会的な組織の立ち上げ	○		◎	◎	◎	◎			株いい、加茂 社)大好きな加茂 地域振興部(振興会中心)	GD全体で
	水族館駐車場から貸出自転車(レンタサイクル)	○			◎	◎	◎	◎		株いい、加茂 社)大好きな加茂	自転車購入(購入補助申請) 地域内不要自転車リサイクル
	港オアシスでオートキャンプやバーベキューが出来る様にする		○		◎			◎		自治振興会上大課観光物産課 観光協会的な組織	照明器具・電源・水道・トイレの確保
	NEWマリンタウン構想(マリンレジャーを推進する)		○		◎	◎	◎	◎		海教塾 自治振興会	彼の定住したレインボークービーを期間を空けて、ヨット・マリン・カヤック・SUPなどのマリンレジャー・ダイビングなど海の魅力を最大限活用して観光を
	ヨット・レジャーポート・ジェットスキーなども保管できる施設を確保する			○		◎		◎		磯見組合 ゴールドマリーナクラブ	
	旧加茂小の活用(宿泊施設および海・山を活かした自然体験ツアー(自然塾)の企画)			○		◎		◎		海教塾 体育協会 自治振興会 金峰少年自然の家 教育委員会	ヨット教室 テント張り
	運営のしくみづくり				◎			◎		HP委員会⇒観光協会的な組織	
	旧加茂小に宿泊施設を整備し、観光客が利用でき加茂の魅力伝えて人口増につなげる また、一部ローワーキングスペースとして活用する			○		◎		◎		教育委員会、県、鶴岡市 住民会、自治振興会	まずは地域で検討、利用したい組織 行政と連携していく
	加茂水族館でのイベントを実施					◎		◎		加茂水族館、地域振興部 教育チームなど	定期的な開催
商工会的な組織を作る					◎		◎		おもしろい"かも" 大好きな加茂、加茂デザイン	合同イベントの開催	
空き家の活用、立ち寄れる場所(店)、加工所に					◎		◎		大好きな加茂、環境チーム 鶴岡市、自治振興会	場所、空き家の提供者 協力者補助の活用	
海洋レジャーが行えるように港の整備					◎		◎		ゴールドマリーナクラブ 港湾局、漁協、自治振興会	新マリーナタウン構想	

分類	項目	2～3年		4年～		主体・役割・連携(実践の体制)					想定される連携先など	実践のポイントなど	
		2～3年	4年～	住民個々	組織の取り組み	地域の取り組み	組織間連携	地域連携	行政との連携	行政			
暮らしやすい環境づくりのための提案	空き家活用のための調査・分類を行う	○				◎	◎	◎	◎			大好きな加茂、いい加茂環境課	町内会長・住民会長にも協力いただく
	危険な空き家への対応を学ぶ	○				◎	◎	◎	◎			環境課	観光チーム、事業者には、町内会長・住民会長の協力が必須！
	”子どもを育てるなら加茂”の気持ちを持つ地域づくりをする	○				◎	◎	◎	◎				
	住居に適した空き家を移住者に紹介・提供するしくみづくり		○			◎	◎	◎	◎			自然チーム、自治振興会	
	空き家を利用し誰もが気軽に集えるコミュニティカフェをつくる		○			◎	◎	◎	◎			自治振興会、社協	
	店舗としての空き家活用を検討する		○			◎	◎	◎	◎			自治振興会、いい加茂ランドバンク	
	青壮年世代の一人一人に役割をあたえ、活躍する場を設ける		○			◎	◎	◎	◎			自治振興会、大好きな加茂ランドバンク	
	若者主体の交流イベントを実施する		○			◎	◎	◎	◎			育成会、海塾、地域振興部各公民館	
	子どもの遊び場を作る		○			◎	◎	◎	◎			加茂水族館 育成会 自治振興会	
加茂の歴史・文化を継承し、未来につなげるための提案	旧加茂小学校跡地を海教塾の拠点とし、宿泊しながら海洋教育を学ぶ		○			◎	◎	◎	◎			山形県 鶴岡市 海教塾 地区住民 自治振興会	県港湾や鶴岡市教育委員会からも協力してもらう
	赤灯台で若者を中心にイベントを行い盛り上げる		○			◎	◎	◎	◎			赤灯台を守る会 大好きな加茂地区住民 加茂の各団体	大好きな加茂が行っている灯台のタイド募金に協力し、もつと周知する
	加茂の歴史を知ることができ、まち歩きルートを作る		○			◎	◎	◎	◎			鶴岡市 自治振興会	歴史のテーママーカーを作ってみる

10. 地区を取り巻く協働先



11. 検討の経過

☆平成29年11月10日（金）加茂地区地域づくり研修会開催



山形県置賜総合支庁産業経済部農村計画部農村計画課課長（当時）
地域づくりプランナーの
高橋信博さんとの出会い

まだランドデザイン検討委員会が立ち上がって
いなく、参加したみんなは訳わからず。。の参加
の方が多かったよね。鶴岡市コミュニティ推進課

のご協力で開催することができました。

加茂の人口が40年で1500人も減っていて、高齢化率が40年前12%だったのが50%近くまで
なっているデータにみんな言葉を失ってたよね。。

☆平成30年1月24日（水）

第1回加茂ランドデザイン検討委員会開催

6つのグループに分かれてのワークショップ。

テーマは「加茂の現状を把握する」

自分が住んでいる加茂の強み（魅力）弱み（欠点）
資源（可能性）不安（不便さ）を出し合いました。

良い所って、なかなか出てこなかつ
たな。。欠点や、マイナスなところは
どのグループからも沢山出ていたね。

☆平成30年3月14日（水）

第2回加茂ランドデザイン検討委員会開催



悪天候の中、多くの委員が集まってく
れました。

今回のテーマは

「加茂の現状を把握する 第2弾」

この日はホワイトDAY♡男性の皆さんにハラ
ハラさせないように（？）事務局からおいしいお
やつを準備させて頂きました(∞)(>(<)。♡

☆平成30年8月8日(水)

第3回加茂グランドデザイン検討委員会開催

4月は年度のスタート、4・5月は各地域のお祭りがあり、地区大運動会も開催。7月には加茂港大漁フェスティバル開催とイベントが盛りだくさんでなかなか開催が出来なかった検討委員会。



4ヵ月ほど離れてしまった検討委員会。3月まで話し合った内容の振り返り。庄内総合支庁農村計画課の阿部主査、山本さん他職員の方との出会い。プロジェクターで分かりやすく振り返り。感謝！



前回の把握で出た強み、弱み、資源、不安をまとめたシートを活用して、今日は課題解決のワークショップ。

・強み⇒活用・伸ばす ・弱み⇒改善・無くす
○個人や、今ある加茂の団体として何ができるのか。



☆平成30年8月31日(金)

第4回加茂グランドデザイン検討委員会開催



前回の検討委員会が楽しかったので、続けて8月に第4回を行っちゃいました。

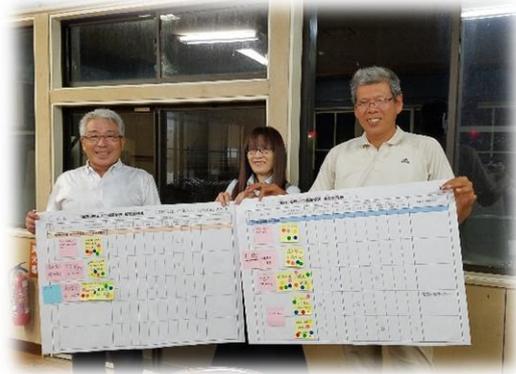
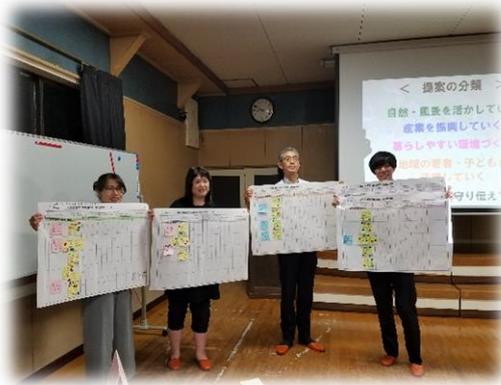
今回のテーマは

「課題解決のための提案の整理」

前回の振り返りを行った後、加茂の課題の解決のための提案を各グループで整理してみました。

できそうなこと、やれそうなこと、それを誰がいつ、どこでやれるのか。。。かもでいつもつまづいてしまう課題です。時間があるグループは、やれるスケジュールを考えてみました。

今すぐできるのか、2~3年かかるのか。それともそれ以上。。。。



《 番外編 》

☆平成30年9月21日(金)

Bグループワークショップ開催

忙しくて第4回の検討委員会に参加できなかったBグループが、個別で集まってくれました。忙しい中ありがとう！



☆平成30年10月2日(火)

第5回加茂グランドデザイン検討委員会開催



高橋さんの講義を聞いて、グランドデザイン検討委員会を立ち上げてから約1年が経ちました。阿部主査のプロジェクトを見ながら振り返り。

今回のテーマは

「提案グループの活動計画づくり」

それぞれから出た課題をまとめたところ、5つの加茂の課題が提案されました。

加茂の強みを活用し、伸ばすためにはどんな提案があればいいのか。

逆に、加茂の弱みを改善し、無くするためにはどんな提案を出せばいいのか。

段々と、加茂が今必要とする課題がはっきりしてきました

この5つの提案に取り組んでいくプロジェクトチームを本日立ち上げました！！



項	目
	自然・風景を活かしていく提案
	産業を振興していく提案
	暮らしやすい環境づくりのための提案
	地域の若者・子どもが活躍していくための提案
	歴史・教育を守り伝えていくための提案

自然チーム

「自然・風景を活かしていく提案」について、取り組んでいます。



<p>●元集安地産づくり協議会</p> <h2>自然チーム</h2> <p>(秋野 誠・伊藤 董・本向 竜 村上 美佐子・阿部 美紀 秋野 吉弘)</p> <p style="text-align: right;">中野報告センター</p>		
<p>私たちのチームが話し合いのなかで重視してきたこと</p>		
<p>加茂の良い スポットを より多くの人に 知ってもらおう!</p>	<p>今、加茂にいる人達に 加茂の良いところを 再発見してしまおう !!</p>	<p>チーム内メンバーの 一人だけに 作業負担が かからないように 進める!!!</p>
<p>理由</p> <p>加茂を知ってもら うだけでなく、加茂に 来てもらい、加茂への 移住につながれば いいな</p>	<p>人口減少の歯止め[☆]</p> <p>今、加茂にいる人が 加茂から出ていかない 気持ちをつくることにな つながればいいな</p>	<p>チーム内メンバー 全員で 作業を分担して いきましょう! これからは </p> <p>いいね</p>

産業チーム

「産業を振興していく提案」について、取り組んでいます。



●元氣な地域づくり(伊勢) 中岡剛吉整理5-1-3

産業 チーム (田澤直也 尾形昌彦 阿部幸男 田澤達彦 渡部悠雄 佐藤由紀 加藤寛規 小鹿元三)

私たちのチームが話合いのなかで**重視**してきたこと

1つを形にすることを重視した

できること、身近なことからスタートしてみる
 やれることからコツコツと
 着伸びせず、身の丈にあった
 目標に取りくむ

意現を出し合う中で
 協力者を上手に取り込む
 (今年3作り 再現協力者 レビ作り)

理由

1つ1つ 積み重ねていくことで
 目標が達成できると考えた

最初からチームだけでやろうと
 せず 周りをまき込んでいくことで
 上手いこと考えたため

環境チーム

「暮らしやすい環境づくりのための提案」について、取り組んでいます。



●元気の場づくり(リフレク) 中野緑色健康シート

環境チーム (越中洋作、上林泰一、高橋和雄、香藤亮子、成田美子、佐藤亮)

私たちのチームが話し合いのなかで**重視**してきたこと

- ① **高齢者支援について**
地域の人達の話をもっと聞くこと
- ② **地域防災について**
より多くの人に防災意識をもってもらうにはどうするか

理由

- 自己満足になさぬようにするため **高齢者支援**
- 本当に必要な支援を知りたいため
- 避難訓練に行われても自分の参加がムシでマンネリ化
若い人達にも防災の大切さを知ってもらうきっかけ作りは出来たらいい

教育チーム

「地域の若者・子どもが活躍していくための提案」について、取り組んでいます。
 「歴史・教育を守り伝えていくための提案」

2019.8 作成



目次	
・グランドデザイン検討委員会とは P1
・グランドデザイン「自然チーム」 P2
・ " 「産業チーム」 P3
・ " 「環境チーム」 P4
・ " 「教育チーム」 P5
・ " 「歴史チーム」 P6
・加茂泊町大黒舞 P7.8

発行元 加茂グランドデザイン教育チーム



●元職は職種の「教育」 (佐藤 満 石名坂 績 秋野わかな 渡部 伸代) 中核職員管理シート
 教育チーム (佐藤 浩太 武藤伸哉 齋藤 香)

私たちのチームが話し合いのなかで重視してきたこと

いつも地域に出てこない『加茂を元気にする担い手』を地域づくりに参加してもらおうこと。

理由

- 3世代同居(が多い)ため、地域行事は上の世代が出るという状況がある
- 若い人たちの活躍する機会を与えず、表舞台に出ていない(出ずに済んでいる)
- 加茂の人の特性が、人見知り、引込み思案、シャイであること。

歴史・教育

祝 日本遺産追加認定！！

北前船寄港地として加茂地区登録決定！！



令和元年5月20日(月)文化庁より「北前船寄港地」として加茂が日本遺産追加認定を受けました。県で北前船の寄港地となったのは酒田市について加茂が2つ目。鶴岡市の日本遺産としては出羽三山・サムライシルクに次いで3つ目の日本遺産となりました。

旧加茂小学校裏の日和山整備

教育・歴史チームの提案でもある、「北前船の歴史を後世に残し伝えていく」の第1弾でもある日
和山整備。加茂町内振興会、加茂の文化遺産を愛する会、加茂町内会長、住民会長、自治振興会生活
環境部の皆さんよりご協力を頂き、加茂の海が見える本来の日和山になりました。



加茂泊町大黒舞の若者育成

教育のスタートにもなる、加茂の伝統を若者に継承しようと認定を受けたのをきっかけに6月より
募集をかけ始めました。10名ほどの若者たちが新しく入会をしてくれ、北前船の乗組員が残して
行った大黒舞を引き継いでいます。

